

とらうべ通信 2017.4月号 No.83

発行所：(社)香川県助産師会 高松市春日町 1176
発行責任者：眞鍋 由紀子 ☎：087-844-4131 FAX：087-844-4130

会長挨拶

会長 眞鍋 由紀子

春は選抜からと言われるように、選抜の対戦校が決まったというニュースが流れると、朝も起きやすく活動的になりました。

会員の皆様にはそれぞれの地域で母子保健業務に日夜、ご奮闘下さっている事に感謝申し上げます。香川県助産師会においては28年度の行事もつつがなく終わりを迎えており、これも一重に会員の皆様のご尽力の賜と感謝いたします。

29年度は教育計画の中で、ウイメンズヘルスケア能力の開発、災害対策研修では災害時に遭遇するであろう乳幼児に対するケア・妊産婦へのケア・産後鬱に対するケア等のロールプレイをとうしての研修等を実施する予定です。また、調査研究においては28年度の実施した母子訪問指導時の調査データに基づき、色々な切り口で分析が出来たらと考えています。委員がそれぞれに分担を決めて分析をしていく予定であります。多くのデータが含まれているので興味のある方は是非声を掛けてほしいところです。研究に関しては香川県立保健医療大学倫理委員会に申請し、検討して頂く予定です。

新規事業として「プレ大人への種まきプロジェクト」を進めていきたいところです。少子化の時代、今まさに結婚・妊娠を目の前にしている20歳そこそこの女性たちに、結婚とは。から始まり妊娠・出産について情報提供をします。妊娠期からの関わりでなく、その前の結婚期からの関わり、健全な妊娠を迎えるための情報提供をスタートし、不安が少ないマタニティライフが過ごせるための夫婦への関わり、そして自分らしいお産をするには夫婦でどのような準備があるか、育児を始めるのにどんな準備をしなければ等、色々な切り口から情報提供をすることで、元気な香川県民を育てる一役を担うことが出来ると思います。総会では多くの会員の方からの意見を頂きながら事業を作り上げたいと考えています。5月の総会にて大勢の皆様の参加をお待ちしています。



【推薦委員からのお知らせ】

H29年5月21日 香川県助産師会通常総会において29年度の役員改選を行います。
欠席の方は委任状の提出をお願いします

《候補者名》

会長	宮本 政子 (新)	助産所部会長	松尾 真璃 (現)
副会長	眞鍋 由紀子 (新) 田中 幸子 (現)	保健指導部会長	関亦 頼子 (新)
総務担当	佐々木 三千代 (現)	勤務部会長	多田 鈴子 (現)
監事	原田 好美 (現)	推薦委員	篠原 佐智子 (現)

施設紹介

今回は…香川県厚生農業協同組合連合会 屋島総合病院です！

報告) 浅田明美

当院は、平成 28 年 11 月 7 日に移転新築オープンしました。もとの病院からは、約 1km 西方に位置し、屋島グリーンのパネルが当院のシンボルカラーとして目立っています。新病院では、産婦人科外来と病棟が同じ 4 階フロアに隣接しており、妊娠中から産後まで助産師がすぐに対応できる環境にあり、継続してお母さんと赤ちゃんに寄り添えるメリットがあります。外来待合ホールには、お子様連れの方にも安心してお越し頂けるように、プレイルームや授乳室を設けています。当院産科では、出産、育児をなるべくご家族の要望やライフスタイルに合わせたご希望にお応えできるように取り組んでいます。LDR は 2 室設け、出産の立ち会いには夫のみでなく、家族ぐるみの立ち会いもしばしばで、ご家族で新しい命の誕生を迎えられるようにしています。新病院では、大部屋（4 床室）での母子同室も可能になりました。また、条件付きで、入院中上の子のお世話に困った時には、病室で一緒に宿泊したり、院内保育施設の利用も可能です。昨年より出産後にアロマオイルを使用したリラクゼーションを始めました。産後、授乳で疲れたお母さん方にはたいへん好評で、貴重な癒やしの時間となっています。



当院の助産師は、意欲溢れる新人から、経験豊富なベテランまで総勢 12 名（パートを含む）ですが、赤ちゃんとお母さんの安全と、より良い生活のために日々努力しています。アドバンス助産師は現在 6 名誕生しています。若い助産師がもっともって増えてくれることを期待しています。助産師外来はまだ常設していませんが、退院 1 週間後の体重測定に来て頂き、随時、個別指導を行っています。これからも、ひとり一人を大切に

妊産婦さんとその家族が満足できる環境を整えていきたいと思っておりますので、宜しくお願い致します。



産後ケアで利用できる施設が増えました！

現在、「ぼっこ助産院」「いけぞえ助産院」「松本助産院」で産後ケアを実施しています。新たに「みよし助産師相談室」でも通所型のみ利用できるようになりました。各市町と契約をした施設により助成を受けられます。（助成額や期間は市町により異なります）ぜひ、産後の生活に不安を感じている妊婦さんや、入院中の育児不安が強い褥婦さんに紹介してあげてください。

○利用できる対象者

- (1) 産後の身体的機能の回復について不安があり、相談や指導を必要とする方
- (2) 育児不安が強く、相談や指導を必要とする方
- (3) その他の産後の経過に応じた休養や栄養管理等の日常生活面での指導や相談を特に必要とする方



平野艶子先生を偲んで

十河幸恵

香川の助産師の大先輩である平野艶子先生が、去る平成28年11月24日95歳にて永眠されました。

先生は昭和20年に結婚、そして半年後高松空襲で家をなくしました。23年高松市多賀町に助産院を開業し、平成20年までの60年間に6000人余りの「いのち」を取り上げられました。第2次ベビーブーム時は寝ずに一日7人の赤ちゃんが生まれた時もあったとか。お産が施設に移る中で、先生は「お産を助産師の手に取り戻したい」、口ぐせは「お母さんに寄り添い、お産は待つこと、急いではいけない」と言われていました。



平成元年から10年まで 社)日本助産師会香川県支部の第3代支部長をつとめられました。自宅出産から施設出産に移り衰退する助産師会の中で、激動の時代を常に前向きに活動をされ、産婆から助産婦また助産師へと変遷・男性助産師問題・地域母子保健法・助産師教育など社会の変動と共に助産師の立ち位置が変わることを私たちに指導して下さいました。

昭和23年香川県支部は会員588名いましたが、施設出産と高齢化により、平成3年37名までに減少し、会の存続が危惧されました。本部の指導の下、平成の助産師会の改革が始まり、香川県の勤務助産師32名が助産師会に入会し、先生の助産院で役員会を開催しました。先生は若い助産師の意見はよく聞き入れて下さり、明るい船出となりました。平成5年度中四国地区助産婦講習会(140名参加)と平成8年度日本助産師会総会と学会(546名参加)を老若会員で、先生の肝っ玉母さんの的りーダのもと、成功に終わることが出来ました。「若い助産師のエネルギーはすごい」とおっしゃり、3部会集会も香川総会から始まって全国のお手本となり、先生はとても喜んでおられたことを思い出します。

先生は「飛行機は鉄の塊だから落ちる」と、東京の総会にもいつも夜行列車で行き、飛行機には乗りませんでした。4回一緒に行かせてもらいましたが、とても楽しい旅行ができました。

平成21年に助産院を閉院するまでマイペースで、お産・子育て支援をされ、水彩画の教室に通い、第68回県展に「いのちの誕生」の題(赤ちゃんが産道を回しながら出産する状態の絵)で初出品し入選されました。告別式の会場で大きな素晴らしい「いのちの誕生」の絵画が飾られていて感激しました。

香川県の助産師会活動については、常に気にかけて下さり助産院の新規開設があれば、とても喜ばれて駆けつけて下さり、赤ちゃん訪問が県内で認められ料金改定ができれば喜んでくださりと、枚挙にいとまがないほど後輩の私たちの動きを讃え、励まして下さいました。

ある時電話をしたら、90歳過ぎたので認知症の予防に自叙伝・自画像書いているし、話しが好きなので、デイサービスに行ったり、自宅で月1回高齢者10人位で楽しいサロンも開いて、最後まで自宅で好きな事が出来たらと話されていました。

先生のご希望通り自宅にて、2日間体調を崩された後、サロンの前日に急変し旅出されました。安らかにお眠り下さい。有難うございました。



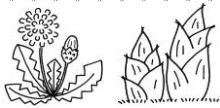
研修会報告

報告) 加藤淑美

1月8日、いのちの応援舎で新生児蘇生法 スキルアップコースが開催されました。

参加者10名に対し、インストラクター3名で指導下さり、充実した時間を過ごすことができました。最初に2010ガイドラインからの変更点などを含めた講義の後、実技実習、シナリオ実習を行いました。数年前に受講した私は基本手技も忘れており、改めて再学習の必要性を感じさせられました。スキルアップコースはNCPR修了認定者を対象とします。資格更新の目的もありますが、継続学習支援のためのコースでもあり、多くの参加者はスキルアップのための受講でした。何らかの助けを必要とする赤ちゃんに、いつ遭遇するか分かりません。その時のために標準的な理論と技術を持ち続けられるよう今後も、定期的にNCPRのプログラムが開催されることを期待します。そして、丁寧に指導して下さいましたインストラクターの先生方ありがとうございました。





《お知らせ》

★5月21日(日)香川県助産師会通常総会が香川県立保健医療大学で開催されます。是非会員の皆様の参加をお待ちしております。なお、総会御欠席の方は、同封の委任状の提出を香川県助産師会事務所までお願いします。(締切4月30日まで)

★会員情報の変更について

新年度になり新しい生活をスタートされた方もいるかと思えます。転居や結婚などに伴い会員情報の変更がありましたら日本助産師会事務局ならびに香川県助産師会(すこやか助産師センター)までお知らせください。年4回とらうべ通信を郵送させていただきます。ご協力お願いいたします。



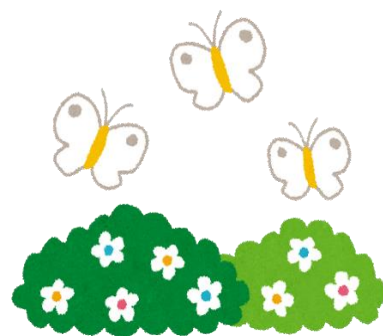
★「すこやか会」が開催されました

3月5日(日)いのちの応援舎で、すこやか会が開催されました。すこやか会では香川県助産師会保健指導部が活動している内容の現状報告や来年度の変更点などが話し合われました。

現在、すこやか会は各種教室運営、妊娠出産サポート事業や、こんにちは赤ちゃん訪問事業、ほっと相談室など多岐に渡って活動しています。日々個々人で活動している中で、年に2回報告を兼ねて顔を合わせる大切な機会となっています。昨年度よりフレッシュなメンバーが数名加わり、よりパワーアップしていきたいと思えます。ぜひ地域での活動に興味がある方は気軽にお声をかけてください。

★母子訪問調査委員会からのお知らせ

昨年より協力いただいたアンケートの結果の集計が終了し、6月に東京で行われる第73回日本助産師学会で報告いたします。調査結果の概要については香川県助産師会通常総会での資料として皆様にお知らせいたします。



★その他のお知らせ

4月6日(木) 10:00~事例検討会(事務所)

4月16日(日) 13:30~理事会(いのちの応援舎)

4月24日(月) 13:30~高松市こんにちは赤ちゃん訪問従事者打ち合わせ会

5月13日(土) 9:30~いいお産の日西会場 第1回実行委員会
(岡田コミュニティーセンター)

5月14日(日) 10:00~いいお産の日高松会場 第1回実行委員会
(いのちの応援舎)

4・5・6月の研修会 行事のお知らせ

日時	研修会・行事・講師等	場所
5月21日(日) 9:30~	平成29年度 一般社団法人香川県助産師会通常総会	県立保健医療大学
5月21日(日) 13:30~16:30	「不妊治療の現状」 「よつばウィメンズクリニック」産婦人科医師 川田清彌先生 会員1500円、非会員2000円、学生500円	県立保健医療大学
5月28日(日) 10:00~16:15	母乳育児支援を学ぶ四国教室 ★別紙参照 参加費：事前申し込み4000円 当日参加5000円 学生3000円	香川県社会福祉総合センター コミュニティーホール

★申し込み等詳しい内容は同封の資料を御参照ください。